

## 平成 26 年度 第 6 回とやま建設フォトコンテスト

**総評** 今年は、応募数が増えましたが、応募者が若干減少し、少し残念です。

しかし、今回も意欲溢れる力作が数多く寄せられたため、入賞作品の選定には、審査員一同、最後まで悩みました。応募された題材も、今話題の北陸新幹線、TOYAMA キラリから、各工事現場で働く人達のいきいきとした表情、真剣な顔などバラエティに富んでおり、関心の高さを窺わせました。

今回は、新しい題材、新たな視点で撮られた作品を重要視しました。その中でも建設現場で働くヘルメット姿の女性監督員の作品に注視しました。この様な「けんせつ小町」を題材とした作品は、建設現場のイメージアップにつながることでと思いますので、今後も多数応募していただきたいと思ひます。

審査委員長 堀田信一（富山県写真連盟委員長）

**特選** 【冬の晴日】 中西 光男（撮影場所：魚津市江口）



8号線バイパスの舗装工事でしょうか。一心不乱に仕事する作業員の方達。一見、人の位置がバラバラに見えますが、一人一人が自分の役割を心得、責任を持って作業している様子が窺えます。望遠レンズで引き寄せたため、バックの立山連峰が迫ってきて、画面全体から迫力がでました。青い作業服と黄色い車体のフィニッシャーの色が鮮やかです。初めての入賞です。



### 働く人部門賞【チームワーク】

梶原 隆（撮影場所：富山市明輪町(富山駅前)）

富山駅前のビルの改装工事。

ビティ足場の組立作業中、足場の部材を下から上へ、人手で上げていく、正にチームワーク良く作業しています。

一人一人の表情、様子が緊張感を伴って伝わってきます。

「冬の晴日」とどちらを特選にするか迷いました。



### 物づくり部門賞【進む能越自動車道工事現場】

杉山邦雄（撮影場所：氷見市中波）

高速道路の工事現場を俯瞰した作品。たくさんの重機と車輛、色彩豊かな中でも黄色い車体に目をうばわれます。

道路を左下から右上へ、さらに左上へと斜めにしたことで構図がよくなりました。



### 絆部門賞【夢の架け橋】

深松 隆（撮影場所：朝日町笹川地区神向橋）  
一見、普通の記念写真と思いましたが、橋桁にペイントした桜と蛍の絵、泊高校美術部の生徒さんの作品。

橋の上の生徒さんの満足感と笑顔。

地域をもっと良くしたいという思いと、古里を愛する気持ちが伝わってきます。

## 佳作【女性現場監督員 木造住宅建方】

松下宗光（撮影場所：高岡市福岡町）



近年、建設現場にも女性技術者が沢山進出している。黄色いヘルメットの下から覗く、女性現場監督員の笑顔が美しい。「けんせつ小町」と称されるそうですが、これからも現場で働く女性を撮った作品が数多く出品されることを望んでいます。

## 佳作【待ち焦がれた新幹線】

平野 稔（撮影場所：富山市内）



立山連峰をバックに富山市街を試験走行中のW7系の新幹線。もうすぐこの光景がいつでも見られるようになるのですね。



## 佳作【なにをつくっているのかな？】

寺島信雄（撮影場所：富山東バイパス道路工事現場）  
「富山東バイパスの工事」の親子現場見学会での一コマ。工事関係者の説明にあわせて、体を横に曲げて聞き入る、赤と黒のボーダー柄(横縞)の男の子の真剣な表情が後姿から見えてきて、面白く感じる。心温まる作品です。

## 佳作【ようこそ新幹線 にこここ富山】

吉村麗奈（撮影場所：きとさと市場とヤマルシェ建設現場前）

雪だるまの形をしたカラーコーン。新幹線で富山へ来られたお客様をにこここして出迎えたいという優しい気持ちが伝わってきます。だけど、このカラーコーンは、開業前には撤去されているんですよ。

視点が良い。若い人の感性が良く出ています。



## 佳作【天までとどけ】

松谷憲利（撮影場所：新湊大橋）



過去、新湊大橋の作品が続いたので、どうしようかと悩みましたが、あまりにも美しいので取り上げました。画面の3分の2を占める青空と白い雲の淡い色合い。広角系レンズで撮ったため、手前の道路が大きく、そしてS字状に奥行きが表現された。

道路の黄色いセンターラインが、ほど良いアクセントになっています。

### 第6回とやま建設フォトコンテスト概要

募集時期 平成26年8月～平成27年1月  
主催 (一社)富山県建設業協会  
後援 富山県、富山県建設産業団体連合会、東日本建設業保証(株)富山支店  
応募点数 144点  
入賞作品 9作品

### 募集部門

- 働く人部門……建設業で働く人々が、いきいきと誇りを持って物づくりに携わる姿等をとらえた作品
- 物づくり部門……建造物や建設機械などを対象に、建設産業のスケールの大きさや重要性等をとらえた作品。
- 絆部門……除雪活動や防災対策など、建設業と地域のつながり、人々の安心安全を守るために担っている役割・活動をとらえた作品